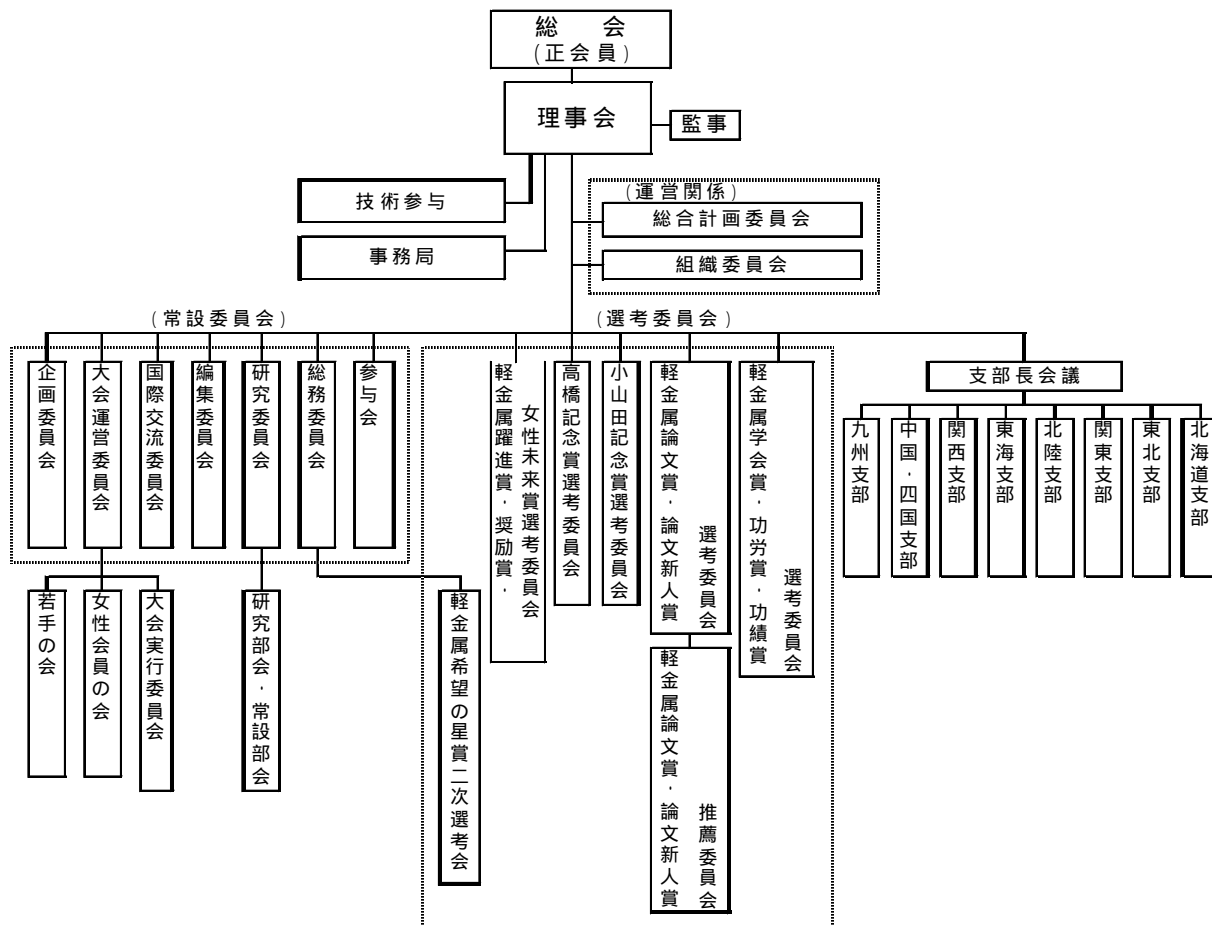


平成23年4月1日付けで社団法人の解散登記及び一般社団法人の登記を完了しました。

「一般社団法人 軽金属学会」
(名誉会員, 永年会員, 正会員, 学生会員, 維持会員)



研究部会

学界と産業界の各専門分野から広く多くの技術・研究陣が参加し、情報交換だけでなく積極的な共同研究を推進し、金属学的基础研究から生産技術研究あるいは開発的研究へと展開しています。また、部会活動を通して、次代を担う若手技術者、研究者の企業間の交流も活発化し、活字以外の実務的な情報が日常的に交換され、生産現場も相互に公開されるようになってきました。平成 23 年度に活動中の部会は下記のとおりです。平成 19 年度より、シーズの抽出と最新技術の情報収集を目的に常設部会を設置し、平成 20 年度以降、学会独自のロードマップを作成・見直しを行っています。

高機能押出加工技術研究部会
押出型材の表面欠陥の抑制など従来の押出加工技術の向上と、時代の要請に対応した機能的な押出加工技術の創成を行なう
摩擦攪拌プロセスによる接合と表面改質研究部会
摩擦攪拌プロセスの諸現象と継手強度、表面改質などに関する調査・応用研究を行う。
集合組織研究部会
集合組織に対する理解を深め、基礎から応用までの幅広い研究活動を行うとともに、データベースの構築や集合組織測定・表示法の標準化を進める。

アルミニウム圧延における生産性
研究部会
アルミニウム板圧延の、特に生産
性の向上について、意見交換・検
討を行いながら、技術レベルの向
上を図る。
新機能発現・化学プロセス部会
化学反応に関わるプロセスを取り
あげ議論する。表面処理、腐食、
精錬、リサイクル等の30年後を見
据えた情報交換の場とする。
成形性評価シミュレーションに関する
基盤技術開発部会
自動車部品等にアルミ合金を適用
するための成形性評価シミュレ
ーションの基盤技術確立のため、アル
ミ合金の成形性評価に必要な基
礎データの整備と充実を図る。

アルミニウム合金圧延材の組織形成予測部会
アルミニウムの材料特性は合金成分と製造条件に左右される。昨今、材料組織形成シミュレーションを用いた特性予測が進展しており、材料データプラットフォームの構築で、我が国独自の組織形成予測技術を実現させる。

アルミニウム中の水素研究部会
アルミニウム合金中の水素は、材料の機械的特性や表面品質に影響を及ぼす。そこで、基礎的に水素ガス分析方法の高精度化と、機械的性質等に及ぼす水素ガス量の影響調査を行う。

平成 23 年 5 月 1 日現在